

食物アレルギーについて知っていますか？

この研修プログラムは、研修前に食物アレルギーに対する自己評価を行い、それをふまえ、研修を受講し、研修後自己評価を行うことで研修効果を確認することで研修の効果を客観的に把握します。

問1 以下の項目について、当てはまる回答を1つご記入ください。 ○…正しい ×…正しくない △…わからない		回答
1	小中学生では、およそ20人に1人が食物アレルギーをもっている	
2	食物アレルギーの有病率は平成16年以降、横ばいである	
3	同じアレルギー疾患の児童生徒であっても個々の児童生徒で症状が大きく異なる	
4	同じ児童生徒であれば、食物アレルギーを発症する時は、毎回同様のアレルギー症状を示す	
5	食物アレルギーは、その日の体調で、同じものを食べても症状が出たり、出なかったりする	
6	食物アレルギーは乳幼児期に発症しなければ、小学校入学以降、新たに発症することはない	
7	食物アレルギーは2つの病型に分類され「即時型」と「口くうアレルギー症候群」である	
8	即時型の症状発生は、原因食物を食べて30分から1時間後ぐらいであることが多い	
9	食物アレルギーの主な症状に「じんましん」「かゆみ」「皮膚の赤み」がある	
10	食物アレルギーの主な症状に「せき」「のどや胸のしめつけ感」「声がかすれる」がある	
11	食物アレルギーの主な症状に「口の中の違和感」「まぶたの腫れ」「顔全体の腫れ」がある	
12	食物アレルギーの主な症状に「腹痛」「吐き気」「嘔吐」がある	
13	食物アレルギーの代表的な症状は皮膚症状であり、食物アレルギーの際には必ず発現する	
14	一度食べられるようになった原因食物では、その後食物アレルギーを起こすことはない	
15	食物アレルギーは原因食物を経口摂取したことのみによっておこる	
16	小中学生では、木の実類（ナッツ類）で、食物アレルギーを起こすことはない	
17	アナフィラキシーショックで命をおとすことがある	
18	運動がアナフィラキシーを誘発する場合がある	
19	初発の食物アレルギーは、症状が軽い	
20	本人も保護者も「食物アレルギー」と自覚していないのに食物アレルギーの症状を発症する場合がある	
21	食物アレルギーの症状が出たら、養護教諭が適切な対応をすれば問題ない	
22	給食後、子供の顔色が悪く、ぐったりしている時は、すぐに歩いて保健室に連れていく	
23	アナフィラキシーショックを初めて起こした児童生徒がいたら、エピペンをすでに持っている児童生徒のエピペンを借りて注射してよい	
24	食物アレルギーのある児童が食後にひどい腹痛を訴えたり、吐いたりしたが、それは食物アレルギーとは関係ない	
25	食物アレルギーのある児童が食事をしたら、せき込んで声がかすれてきた場合、水分を取らせてしばらく様子を見る	

※ 裏面に続きます

問2 以下の児童生徒の「重症度」に最も当てはまると思うものを1つ選んで○を付けてください。

1	給食で牛乳を飲んだ後、急に具合が悪くなったAさん。我慢できるくらいの腹痛、全身のかゆみがあるそうです。顔全体も腫れていました。	緊急 ・ 受診 ・ 注意
2	調理実習で、リンゴを食べた後、「口の中や唇がイガイガする」と言ってきたBさん。次第にくしゃみも出始めました。	緊急 ・ 受診 ・ 注意
3	昼休み、友達と校庭でサッカーをしていたC君。腹痛、鼻づまりが始まり、呼吸がしにくく苦しいと訴えています。給食には、「エビシュウマイ」が出ていました。	緊急 ・ 受診 ・ 注意

問3 以下の項目について、ご自身の考えに一番近い回答を1つご記入ください。

○…はい ×…いいえ △…わからない

		回答
1	埼玉県教育委員会発行「学校における食物アレルギー対応マニュアル」を知っている	
2	食物アレルギーの症状は見ればわかる、気づくと思う	
3	食物アレルギーの症状かも、と疑った時の対応を知っている	
4	エピペンを処方されるような重度の食物アレルギーの児童生徒が在籍しない学校では、食物アレルギーの研修を毎年実施しなくてもよい	